

施主へのプレゼンテーションに使える 『住環境デザインシート』 CPD 2 単位

作成から活用法、事例紹介

物件名 千歳鳥山SG邸	所在地 6地域	設計者 A3	株式会社 植本空間設計会 植本俊介 〒180-0013 東京都武蔵野市西久保3-2-17アルペルゴ武蔵野701 TEL:0422-27-7150 mail:info@uemot.com WEB:www.uemot.com
-----------------------	-------------------	------------------	--



写真



間取り



写真



間取り

建物概要

建設地	東京都目黒区	構造/階数	木造2階建	居住者構成	夫婦+子ども4人
敷地面積	183.49㎡	エネルギー評価床面積	157.54㎡	竣工年	2021年
建築面積	90.34㎡			暮らしの特徴	暮らしの特徴
床面積	77.31㎡			・6人家族なので在宅率が高い	
1階	61.90㎡			・平日19時間、休日はほぼ毎日	
2階	61.90㎡			・省エネ意識は一般的(フルトビト)	
3階	61.90㎡			・6人家族なので効率的な部分もある(水利用等)	
延床面積	145.21㎡	開口部面積割合	8.04%		

地域性

地域の気候風土/周辺の微気候の特徴

- 季節: 気温は高気圧の影響で、冬は多量な降雪
- 湿度・湿度: 夏は高温多湿、冬は乾燥する。
- 降雪: 降雪はほとんどない。
- 風況: 風は夏期は南風、冬期は北風の季節風が吹く。
- 住宅地内での風の影響は弱まって
- 地理: 関東平野の武蔵野台地上の住宅地
- 植木: 大都市内の住宅地なので、地味め
- 気象: 水害、風害の可能性は低い。地震に
- 敷地周辺の状況: 周辺は農地が徐々に開発された住宅地
- その他: 地盤が高い場所なのでかなり建てる。
- 地域の柱・材: 国産材を多く使用。内部は精製あわし

地域性の気象データ

項目	平均	最高	最低	湿度	
湿度度	大暑(7月下旬)	26.6	31.4	23.1	
	大寒(1月下旬)	4.3	9.7	-0.8	
日照時間(6月)	44.8	68.3	53.5	mm	
日照時間(9月)	79.9	86.3	82.0	mm	
日照時間(7月)	39.0	46.9	60.8	h	
日照時間(1月)	67.7	62.8	72.3	h	
風速	夏期(7月)	1.9	1.9	2.0	m/s
	冬期(1月)	1.3	1.3	1.4	m/s

コンセプト

6人の御家族が暮らすよう、家の中央部に、階段、吹抜、宙の部屋を配置し、回遊性と床レベルの変化が楽しめる住宅である。金属やアイディアの都的な外観とは対照的に、内部は、あらかの八畳杉の梁、杉板ベネの天井、ナラ材の無垢フローリング、珪藻土クロス、デッキや板敷など、自然の素材感がふんばりに感じられ、高度斜線による屋根勾配がそのまま室内にあらわれた断面構成としている。構造は厚さ250mmの高耐久基礎、耐震性に優れたコーティング等、性能の仕様に、構造3相の耐力を確保している。

外皮仕様

断熱開口部	断熱仕様	計算結果
屋根・天井	フェノールフォーム断熱材 t=85mm	外皮平均熱貫流率 U/A値 0.50 W/m ² K
外壁	フェノールフォーム断熱材 t=85mm	外皮平均熱貫流率 U/A値 1.8 %
外壁付加断熱		外皮平均熱貫流率 U/A値 2.3 %
床断熱		外皮平均熱貫流率 U/A値 190.20 W/m ²
基礎断熱	ポリスチレンフォーム t=100mm	外皮平均熱貫流率 U/A値 4.71 W/(M/m ²)
開口部	一般の窓 アルミ樹脂複合サッシ Low-E 断熱ガラス	外皮平均熱貫流率 U/A値 6.90 W/(M/m ²)
玄関ドア	既製品木製ドア	外皮平均熱貫流率 U/A値 1.67 W/m ² K

設備仕様

暖冷房	照明	太陽熱給湯
自然熱の利用	主たる居室 全てLEDを使用	採用しない
蓄熱の利用	その他の居室 全てLEDを使用	採用しない
暖房	主たる居室 ヒートポンプエアコン	太陽光発電
その他の居室	ヒートポンプエアコン	採用しない
冷房	主たる居室 ヒートポンプエアコン	ソーラパネル
その他の居室	ヒートポンプエアコン	採用しない
換気	洗面水栓	2バルブ水栓以外水優先水栓
換気方式	キッチン水栓	2バルブ水栓以外水優先水栓
省エネ対策	洗面水栓	2バルブ水栓以外水優先水栓
換気回数	洗面水栓	2バルブ水栓以外水優先水栓
熱交換器	浴槽	高断熱浴槽
熱交換器	利用しない	

エネルギー消費量

一次エネルギー消費量	設計値	基準値	実測値
暖房	20	19000	
冷房	11	3000	
換気	2	6000	
給湯設備	1802	25091	25000
照明設備		8000	
その他の設備		23576	
合計(割/年)	90.6	125.1	88.6
BEI	0.67		

暮らし方の提案

物件固有の特徴、効果の評価、暮らし方の工夫等

実測値の合計はガス、電気の使用量からの換算による。用油別のエネルギー消費量は、6階建てであり、高いにも関わらず、下回りの構造が、エネルギー消費量を削減する効果がある。特に、省エネに意識した暮らし方を提案しているわけではない。人数が多いため、給湯が、冷房については、冷房に合わせたエアコンを多少おこなわれている。暖房に合わせた日射熱利用も効果的であると推測される。

住環境デザインシートとは

東京建築士会環境委員会では、この省エネ基準適合義務化に向けて『住環境デザインシート』というフォーマットを提案しています。

この『住環境デザインシート』は説明義務制度用の説明資料にとどまらず、その住宅の全体像が一目でわかるように、1枚のシートに写真、概要、地域性、コンセプト、外皮仕様、設備仕様、エネルギー消費量、暮らし方の提案等をまとめています。

多くの会員がこのツールを活用して、建築主へ省エネに関する内容を中心に、建物の全体像をわかりやすく説明ができるようになることを目指しています。

今回は住宅の省エネに関して設計者から建築主への説明やその住宅の住環境ポテンシャルの理解に役立つツールとして住環境デザインシートの作り方、活用方法について解説します。

日時：2022年7月15日(金) 13:30~16:15
(接続開始13:20~)

環境オンラインセミナー【ZOOM】

省エネ基準適合義務化に向けて『住環境デザインシート』作成から活用法、事例紹介

■ 日 時：2022年7月15日（金）13：30～16：15 CPD2単位

■ 対象者：東京建築士会会員、全国の都道府県建築士会会員、一般

■ 講 師：植本俊介氏（植本空間設計舎）／ 篠節子氏（篠計画工房）／ 後藤智揮氏（後藤組設計室）

■ セミナー概要

2021年4月に始まった改正建築物省エネ法により、300㎡未満の建築物を設計する際は、省エネ基準への適否、及び省エネ基準に適合していない場合は省エネ性能確保のための措置について、建築士から建築主に対して書面を交付して説明することが義務付けられました。

更に今後、省エネ基準適合義務化へのロードマップも示されています。

このような状況の中で、『住環境デザインシート』を利用して、数値だけに振り回されずに、居心地良く省エネ生活ができるバランスのとれた暮らし作りに役立てていただきたいと思います。

今回のセミナーでは、『住環境デザインシート』の具体的な内容解説～作り方、入力するデータなどはどこからもってあげれば良いのか、どのように活用できるかなどを含めて、丁寧に解説し、更に、『住環境デザインシート』の実例をいくつか紹介します。

■ プログラム

13:30～13:40	事務局より進行の案内、開会挨拶、講師紹介
13:40～14:25	『住環境デザインシート』の解説
14:25～14:55	事例1
14:55～15:00	休憩
15:00～15:30	事例2
15:30～16:00	事例3
16:00～16:10	質疑応答
16:10～16:15	閉会挨拶

■ 受講料：正・準会員・学生 1,000円 / 一般 2,000円（クレジットカード・コンビニ・ATM可）

■ 定 員：90名（申し込み先着順：支払い時に申し込み完了）

■ 参加方法：ZOOMによるwebセミナー

- ◇ 13:20から接続可能です。待機画面が出るのでセミナー開始までお待ちください。
- ◇ アクセス記録にて出席確認をしますので、ZOOM参加の先に入力する名前は申込者名と同じ名前としてください。氏名表記はフルネームをお願いします。例：山田花子（漢字等日本語表記としてください。）
- ◇ CPD取得には原則、全時間聴講が必要です。
- ◇ セミナーの録音、録画はご遠慮ください。

■ 申込方法：下記URLまたは二次元QRコードより申込ページにアクセス頂き、申込のお手続きをお願いします。

セミナーの申込みにはpeatixへの事前登録が必要です。

〈URL〉 <https://kankyo715.peatix.com>

〈二次元コード〉



- ◇ セミナー開催数日前に送りますwebセミナー入室用URLからZOOMに参加してください。

■主催：（一社）東京建築士会 ■企画：（一社）東京建築士会・環境委員会 ■後援：（公社）日本建築士会連合会

■問合せ：（一社）東京建築士会事務局 担当：遠藤 TEL：03-3527-3100 E-mail：event@tokyokenchikushikai.or.jp

個人情報の取り扱い：本申込書に記載頂いた情報は適切に管理し、本セミナーの運営及び、東京建築士会が開催する他のイベントの案内・照会の為に利用する場合があります。